

## I-4 “やりたい気持ち”を大切にしたい生活づくり

## 【プログラムのねらい】

- ・自己主張が始まった頃の子どもの“やりたい気持ち”を引き出す保護者のかかわりについて考える。
- ・食事・排せつ・遊び・睡眠など、子どもの生活づくりに着目し、よいこと悪いことをしっかり伝え、社会的なルールを学ぶしつけの方法の幅を広げる。

## 【プログラムの展開例】

時間	進め方	準備
10分	<p>▶ アイスブレイキング</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仲間づくりの遊びを行い、参加者のリラックスした雰囲気づくりをする。</li> <li>・他者の意見を否定しない、秘密は守るなど、グループのルールの確認と本日の活動の目的を明確にする。</li> </ul>	P2「アイスブレイキング各種」参照
10分	<p>▶ Work</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食事、排せつ、遊び、睡眠などの場面を取り上げたワークシートに記入することで、自分がどのように子どもに接しているか、日々の子育てを振り返り、意識化を図るようにする。</li> </ul>	ワークシート
30分	<p>▶ グループワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートに書いたことをもとに、テーマをしぼって、子どもの生活リズムづくりやしつけの方法についてグループで話し合い、子どもの“やりたい気持ち”を大切にしたい生活リズムをつくるしつけの方法を考え合う。</li> <li>・司会進行、書記、発表者は、各グループのメンバーで決め、主体的なグループワークになるよう、指導者役は側面から見守る。</li> </ul> <p>▶ 発表とまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各グループの発表者は、話し合った内容を発表し、全体のメンバーの共有を図るようにする。</li> </ul> <p>▶ アドバイス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが健やかに成長していくためには、適切な運動、調和のとれた食事、十分な休養・睡眠など、生活リズムの形成が重要であることを助言する。</li> <li>・資料をもとに、1歳を過ぎた頃から、保護者の根気強く愛情に満ちた「しつけ」をすることで、少しずつ上手にできるようになる。保護者の言うことを聞いて頑張った、そしてほめられたという体験が、子どもの“やりたい気持ち”を育て、自立の基礎ができることをアドバイスする。</li> </ul>	5名程度のグループづくり
10分	<p>▶ 振り返りシート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メンバー一人一人が、このプログラムで得たしつけの方法の気づきを生かし、子どもがより人間らしい生活リズムを身に付ける子育てを奨励する。</li> </ul>	振り返りシート